

2026 年 8 月 7 日

報道関係各位

京都産業大学 広報部

ルアーで鮎を釣る！？ 学生と漁協が描く新たな鮎文化

京都産業大学 現代社会学部 鈴木 康久ゼミ(専門:水文化)は、「水がむすび、新たな価値を生み出す社会」をテーマに活動しています。2～4 年次生のゼミ生 9 人が、賀茂川漁業協同組合のご協力のもと、「鴨川デルタ」にてルアーによるライトスタイルの鮎釣りに挑戦します。体験後には、京都府内水面漁業協同組合連合会とのワークショップを実施し、河川環境の保全と地域漁業の活性化に対する理解を若年層に広めることを目的として、提言を行います。ぜひ取材いただき、広くご紹介くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



【本件のポイント】

- ・鈴木ゼミは、水文化を通じた地域連携と環境学習に取り組んでいます。2026 年 2 月には京都府南丹広域振興局などと連携し、鮎の料理店や美山漁業協同組合などを紹介する冊子を作成するなど、鮎の魅力や地域資源としての可能性を発信しています。
- ・京都府内の河川では、各漁業協同組合が豊かな河川の恵みを守り育むために、魚の放流や生息環境の保全、釣りのルールづくりなどを通じて、川魚の保護・増殖に取り組んでいます。近年、河川での鮎釣りをはじめとした遊漁者が減少していることから、漁業協同組合の運営継続が困難になりつつあり、河川環境の悪化が懸念されています。
- ・鈴木ゼミ生は、昨年に続き京都府内水面漁業協同組合連合会の協力を得て、従来の「友釣り」よりも手軽な「ルアー釣り」による鮎釣りを体験します。体験後には別の場を設け、府内の漁業協同組合と「ルアー釣りを若者に広める」をテーマにワークショップを実施し、若者の視点から川魚や釣り文化への関心を高める可能性について意見交換を行い、未来の漁場づくりに向けて提言を行います。

鈴木ゼミ「鮎のルアー釣りに挑戦！」

■開催日時：2026年8月18日(火)9時00分～12時00分(予定)

■場所：賀茂川(出町橋～賀茂大橋周辺)※賀茂大橋下集合(西側・右岸側)

■参加者：京都産業大学 現代社会学部 鈴木ゼミ生 9人

■講師：澤 健次 氏(賀茂川漁業協同組合 代表理事組合長)

谷口 舞 氏(MAI-STAR 鮎釣り師)

■主催：京都府内水面漁業協同組合連合会・京都産業大学 現代社会学部 鈴木ゼミ

■協力：賀茂川漁業協同組合



※8月8日(土)～19日(水)は、本学一斉夏期休業期間中のため、対応にお時間を頂く可能性がございます。ご迷惑をおかけしますが、当日のご取材や雨天時の対応に関するお問い合わせにつきましては、鈴木教授の携帯電話へご連絡いただけますと幸いです。

本件に関するお問い合わせ先

内容について：京都産業大学 現代社会学部 鈴木 康久 教授 TEL:090-1240-8213

取材について：京都産業大学 広報部 Mail: kouhou-ka@star.kyoto-su.ac.jp